

第4回 北区新庁舎新築基本設計専門家会議 概要

- 日時 令和7年5月9日(金) 16:00～18:30
- 場所 北区役所第一庁舎3階庁議室
- 次第
 - 1 開会
 - 2 議事
 - (1) 新庁舎整備の現状報告について
 - (2) 吹抜形状の検討経緯について
 - (3) コアの考え方について
 - (4) 基本設計中間報告説明会について
 - 3 閉会

●会議概要

1 開会

2 議事

(1) 新庁舎整備の現状報告について

○事務局より現在の進捗状況を説明。

- ・現在の進捗状況を共有。

(2) 吹抜形状の検討経緯について

○設計者より吹抜形状の検討経緯について説明。

- ・前回会議時から、以下のような変更点がある。

- ・大きな吹抜と2層の小さな吹抜で空間のバリエーションをつくる。
- ・吹抜周りに昇降装置として階段を取り込む。
- ・コミュニケーションの場を移動経路の中に設ける。

- ・吹抜をトップライトまで緩やかに繋げる案としているが、その課題であるセキュリティ・音問題や温熱環境に対して整理、解決の検討を進めていきたい。

- ・吹抜内への自然光はどうなる想定か。

→高層階はトップライトからの自然光がある程度感じられると思っている。低層階については側面の外光をガラス手すりすることで日の気配は感じられるのではないかと考えている。シミュレーションにより検証しようと考えている。

- ・近年中間期が短くなっている中で、空調に関しても工夫が必要

→トップライトを計画する中で熱溜り等の換気システムの導入を考えている。また、吹抜内に床部分ができ床吹き出し等居住域空調を行うことで全体的に環境をよくすることができるのではないかと考えている。

- ・直射日光は入らないのか？

→間接光を考えている。トップライトについては慎重に検討したい。

(3) コアの考え方について

○設計者よりコアの検討経緯について説明。

- ・分散コアと集中コアと大きく2つのケースが想定される。様々な条件を検討する必要があるが、現状としては分散コアが適していると考えている。
- ・コストやエレベーターの待ち時間のことを考えると集中コアのほうがいいのではないかと。分散させるのは南北両方からアクセスしやすいという、区民サービスの視点からなのか。
→地上からくる来庁者は北側からくる。デッキが接続された場合は南側に接続される。両方に対応できるのが分散配置だと考えている。
- ・コアに関してはパラメーターをはっきりさせるべき。北区としての方針をコミットメントがあることを前提に効率で考えれば集約型、将来的な更新性を重視した場合には分散型というように納得のいく説明ができる検討をしてほしい。

(4) 基本設計中間報告説明会について

○事務局より中間報告説明会で使用する資料に関して説明。

- ・まとまっていると思うが、もう少しやりたいことをアピールする内容にしても良いのではないかと。
- ・なぜ普通の建物ではないのか、ということが伝わってこない。現状の庁舎における課題や新しいやり方にトライしていくという使命を伝えて共感、応援してもらえる様な内容とすると良い。職員間のコミュニケーションが増えたら何が良いのかということがこの資料からは伝わってこない。区民サービスも向上することを伝えなければならない。もっと魅力的な区にしていくためには、ということに対する意気込みが必要。ただ華美になったと思われないようにする必要がある。

3 閉会